

1 チェックイン

お客様としても、チェックイン前は何かと不安を持っています。カウンター内のスタッフどうしが、日本語でべらべらと話していると、日本語のわからないお客様はより不安になったり、気分を害することになりかねません。

スタッフどうしの会話をする前には、お客様に“Excuse me, please, sir.”のひとことを、忘れずにいましょう。

H: Good evening. May I help you, sir?

G: Yes, I'd like to check in, please.

H: Do you have a reservation with us?

G: Yes, I do.

H: **May I have your name, please?**

G: Rhine. Peter Rhine.

H: **Could you fill out the form(1), please, Mr. Rhine?**

G: Alright.

H: Thank you very much.

Here's your key.(2) Your room number is 1201.

The bellman will show you to your room.

Enjoy your stay, Mr. Rhine.

G: Thank you.

H: Our pleasure.(3)

NOTES

- (1) [英] fill in the form
- (2) Here は、物を渡すときに添えることば。
“Here you are.”ともいう。
- (3) “Thank you.”に返すことば。“You’re welcome.”と同じ意味。たいへん聞こえのいい、品のあるいい方。

H: いらっしやいませ。

G: チェックインしたいのですが。

H: ご予約はされていらっしやいますか。

G: はい。予約してあります。

H: お名前をいただけますでしょうか。

G: ラインです。ピーター・ライン。

H: それではライン様、こちらにご記入いただけますか。

G: はい。

H: ありがとうございます。

お客様のお部屋は 1201 号室で、こちらが鍵でございます。

ベルマンが、お部屋までご案内いたします。

ごゆっくりお過ごしくださいませ。

G: どうもありがとう。

H: どういたしまして。

③

覚えておきたいその他の表現

- パスポートを拝見させていただけますか。
May I have your passport information?
- どのようなお部屋がよろしいでしょうか。
What kind of room would you like?
海が見える部屋 a room with an ocean view
バスつきの部屋 a room with bath
エキストラベッドつき a room with a rollaway
 an extra bed
- ご予約は、シングルルームを2泊でございますね。
Your reservation is for a single room for two nights.
Is that correct?
- お支払いは、どのようになさいますか。
How would you like to settle your payment?
- クレジットカードをプリントさせていただけますか。
May I take an imprint of your credit card?
- 現金でお支払いの場合は、お預かり金をちょうどいさせていただきます。
Could you make a deposit if the payment will be settled in cash? (if you are paying in cash?)
- お預かり金として、2万円を申し受けます。
Could you make a deposit of twenty thousand yen?
- 貴重品は、フロントにてセフティーボックスをご利用ください。
A safety deposit box for any cash or valuables is available at the Front Desk.

☆☆部屋番号のいい方☆☆

* 一ケタずつ読みます。

Rm 2005 Room two-zero-zero-five

* 下一ケタより二ケタずつ区切ります。

Rm 515 Room five-fifteen

Rm 1521 Room fifteen-twenty-one

Rm 1204 Room twelve-oh-four

* 0 zero でも、oh [オウ] でもかまいません。

* 4 four の f を強めに発音しないと、oh と、間違えられるので気をつけましょう。

* 13・14・15……19 は、“teen”の部分に意識的に強くアクセントを置いて発音しましょう。

* 30・40・50……90 は、第一音節にアクセントを強く、語尾は、意識的に短めにします。

* 13-30, 14-40…等は、それぞれ誤解が生じないように、一ケタずつという方法もあります。

13 thirteen, one-three

30 thirty, three-zero